

水域ネットワークの保全対策実施の手引き

平成28年3月

農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村環境課

目 次

1. 水域ネットワークの保全・再生の重要性	1
2. 水域ネットワークの阻害要因	2
3. 現地調査による阻害箇所の把握	3
4. 保全対象生物の選定	5
5. 環境配慮対策の検討を行う範囲（場所）の選定	7
6. ネットワーク改善事例	9
7. 保全対策を通じた地域の実施事例	12
【参考】農村地域で確認された生きもの（魚類・両生類）	15

「水域ネットワークの保全対策実施の手引き」について

「水域ネットワークの保全対策実施の手引き」は、農村地域に生息する多様な生きもののうち、魚類の生息環境について、水域ネットワークの保全を観点とした対策を検討する際の参考資料として取りまとめたものです。

利用場面としては、

- ① 農業農村整備事業の実施にあたり、環境との調和に配慮した調査、計画、設計、施工、維持管理を進めるための参考資料
- ② ①をきっかけとして、地域資源の質的向上を図る共同活動を進める際の参考資料等として活用することを想定しています。

また、参考資料として、農林水産省が蓄積してきた生物生息情報をもとに、農村地域で確認された生きものの分布状況を掲載しました。